

フォーラム

とちおの宝を再認識

しごと起こしと人づくり

～古民家を切り口とした

地域づくりの可能性～

2月7日(水) @ 「おりなす」てまりホール

豪雪地帯栃尾で戦後間もない頃までに建てられた民家は、地元産の材木を使い、そして長年の技術と伝統を受け継いだ地元大工が作り上げた正に文化と知恵の象徴です。

しかし、その古民家が今の生活スタイルに合っていないということで、簡単に壊されてしまい、全国どこにもあるようなパネルで組み立てられた快適性、経済性を重視したハウスに変わっています。

中山間地域の集落も正に古民家同様、長年培われた文化と歴史の詰まった地域が、現代の合理的な価値観により、捨て去られてしまい、正に消滅しようとしています。

「生まれた時からあった」「いつでもある」といった私たちの身近にある物の価値を改めて見出し、それを活用することで、しごとを起こし、そして若者を育て、私たちの故郷を次世代にバトンタッチすることが、今を生きる私たちの役割だと思います。今回は、古民家の再生を通して、栃尾のこれからをみんなで考え討論したいと思っています。



☆フォーラム詳細☆

- ◇主催：北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会
- ◇日時：2018年2月7日(水) 13:10～16:40
- ◇会場：栃尾産業交流センター おりなす てまりホール(長岡市栃尾宮沢1765)
現地見学会 土田邸(栃尾栃堀)
- ◇定員：100名(交流会は15名)
- ◇参加費：フォーラム、見学会は無料(交流会は食事、飲み物込4,000円)
- ◇申込み：2月2日までに裏面を利用しFAXかメール、またはお電話で協議会事務局(ウネ内)までお願いします。

☆日 程☆

- 13:10 開場 受付開始
- 13:30～14:00 開会 挨拶、趣旨説明
- 14:00～15:00 基調講演 『古民家再生の現状と課題』
- 15:10～16:20 一般社団法人新潟古民家再生協会 代表理事 中村 綱喜さん(古民家鑑定士)
パネルディスカッション
『古民家再生：「時」と生きるリノベーション(再生・修復)の本当の意味』
パネラー：施工者：(有)田中工務店 田中 浩一さん(栃尾吉水)
施主：中沢 滋さん(栃尾赤谷)
施主：土田 清さん(栃尾栃堀)
コメンテーター：中村 綱喜さん(新潟市秋葉区)
進行：特定非営利活動法人UNE 代表理事 家老 洋(栃尾一之貝)
- 16:20 質疑応答
- 16:40 フォーラム終了
- 17:00～17:40 栃尾栃堀にある古民家を再生された土田さんのお宅を見学
- 18:00～20:30 引き続き土田さんのお宅で意見交換、交流会